

KYODO PRINTING GROUP



第127期 中間事業報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第127期中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の決算が終了いたしましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、企業収益の改善から設備投資が増加し、景気は回復基調を継続いたしました。しかしながら印刷業界におきましては、受注競争が激しく、単価下落など、厳しい状況が続きました。

このような事業環境の中で当社グループは、グループ経営ビジョン「Kyodo Spirit 2005－新しい視点・新しい行動－」の2年目の年として、成長性、収益性、効率性の向上に取り組んでまいりました。

成長性の向上につきましては、提案型営業を積極的に展開し、大型案件の獲得に努めました。需要の増加する分野ではお客さまのニーズに対応すべく生産能力の増強を図りました。また、情報技術を生かしてお客さまの利便性を向上させるシステムを構築し、関連する印刷物の受注拡大を目指しました。

収益性の向上につきましては、昨年から開始した「Spirit 2005 生産活動」によるコストダウン諸施策を継続するとともに、設備の更新や再配置により生産体制の効率化を進め、製造コストの削減を図りました。

効率性の向上につきましては、付加価値の高い分野への優先的な投資と不採算部門の見直しにより、事業の効率化に取り組みました。

この結果、連結売上高におきましては、532億8千9百万円(前年同期比3.7%増)と前年を上回る結果となりましたが、連結経常利益は、8億9千4百万円(前年同期比33.3%減)と前年を下回りました。連結中間純利益は、減損損失が前年に比べ減少したことにより、3億6千3百万円(前年同期△593百万円)と前年を大きく上回る結果となりました。今後のわが国の経済状況につきましては、国内民間需要に支えられ、景気の拡大傾向が続くと思われませんが、印刷業界におきましては、原材料価格の上昇、競争

激化など、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような中で当社グループは、グループ経営ビジョンの実現に向けて経営課題の解決を図り、業績の向上を目指します。営業面では強みのある分野の企画力・提案力をさらに向上させて、お客さまとの関係を強化してまいります。技術開発面ではお客さまのニーズを先取りし、スピーディーな開発により高付加価値製品を提供いたします。生産面では、生産ラインや拠点の見直しを行い、低コスト、短納期でお客さまに製品を提供できる最適な生産体制の構築を目指します。なお、この10月に株式会社コスモグラフィックの株式を取得いたしました。同社の製版における高い技術力と生産能力を当社保有技術と融合させ、生産力の拡大を図ってまいります。また同月、タイ有数のマルチメディア企業Nationの子会社WP Sと合弁会社設立について合意いたしました。これによりコスト競争力を強化し、海外出版社の発行する高品質な書籍類の受注拡大を目指します。

コンプライアンス、環境保全を初めとする企業の社会的責任についても重要な経営課題であります。本年4月に設立したCSR推進部を核としてグループCSR活動をさらに推進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月



代表取締役社長

稲本 歳明

営業の概況

出版印刷部門

連結売上高119億3千8百万円

平成18年上半年期の出版市場は、話題作の影響で書籍の需要が増加したものの、雑誌の低迷で市場全体は縮小し、厳しい状況が続きました。

当社グループでは、製品ごとの特性に合わせた販売戦略を打ち出し、積極的な提案活動によって受注拡大を目指しました。特に漫画制作における顧客ニーズに対応するため、自社技術を生かした新サービスの開発や、合併会社の設立による業務の拡張を進めました。その結果、コミックスや雑誌の別冊は伸長しましたが、雑誌不振の影響を受け、部門全体では低調でした。



雑誌



絵本・児童書

商業印刷部門

連結売上高311億4千6百万円

広告関係の需要は、日本経済の景気回復を背景に、伸長が続いています。

当社グループでは、販促関連印刷物のトータル受注を目指し、得意先の業種に応じた取り組みや新規開拓を強化しました。その結果、カタログやパンフレットが好調で、前年を上回りました。

データプリントを含むビジネスフォームは積極的な受注活動の結果、順調に推移しました。証券類は、通帳が増加したものの、抽選券類が販売量の減少を受け低調でした。カード類は、銀



PR誌・情報誌・カタログ



交通カード

行・交通業界でのICカード需要の増加の機会を捉え好調でした。FAロボットも印刷業界の設備投資の増加に伴い好調に推移しました。

以上の取り組みの結果、部門全体としては順調でした。



証券類

生活資材部門

連結売上高94億3千5百万円

包装分野は、引き続き環境対応による省資源化と、消費者ニーズの多様化による製品ライフサイクルの短期化および多品種少量化が進んでいます。

当社グループでは需要縮小の中で市場シェアを高めるべく、当社グループが強みを持つ製品や付加価値の高い製品に集中して取り組みました。その結果、チューブ製品やブリキ印刷が好調に推移し、包装全体では堅調でした。

建材製品においては、新企画商品の開発と販売に努めましたが、前年を下回りました。

以上の結果、部門全体では前年と同水準で推移しました。

その他部門

連結売上高7億6千9百万円

連結子会社における物流、不動産管理などが当部門の主たる内容です。不動産管理などが不振でしたが、物流が好調で、部門全体で前年を上回る結果となりました。



菓子・食品包装材



医薬品包装材

まんが市場でのシェア拡大に向けて

本年7月に、まんが制作の効率的なデジタル化とコンテンツの多角的展開を実現するためのソリューションとして「COMIC COMBO RELEASE (コミック コンボ リリース)」を構築しました。

コミック コンボ リリースは、まんが(コミック)を紙媒体だけでなく、インターネットや携帯電話などのデジタルデバイスと組み合わせ(コンビネーション=コンボ)で市場に同時に提供(リリース)するものです。

また9月1日、電子コミックの制作および配信事業拡大のため、当社とMOVIDA HOLDINGS(株)(モビダ・ホールディングス)との共同出資による合併会社「デジタルカタパルト(株)」を設立しました。

当社が開発したまんがフルデジタル制作システム「ComicPacker®」によるデジタル化を入口に、従来の紙媒体だけではなく、デジタルデバイス向けに、電子コミックの国内外へ配信が可能になります。本事業を通じ、まんが市場におけるシェア拡大を目指していきます。



「東京国際ブックフェア2006」の「デジタルパブリッシングフェア2006」に、「コミック コンボ リリース」を出展し、好評を得ました。

世界でたった1冊の絵本「i-ehon」の販売開始

本年6月よりパーソナル絵本「i-ehon」の販売を開始しました。「i-ehon」は、注文時に登録した名前や誕生日などの属性情報を絵本の文章や絵に反映させ、POD(プリントオンデマンド)で印刷する“世界でたった1冊のオリジナル絵本”です。

第1弾として、元日本代表の北澤豪氏原作のサッカー絵本を発売中です。自分と同じ名前の主人公が大活躍する「i-ehon」を通じて、子どもたちの情操教育に寄与していきたいと考えています。

詳しくは、サイトをご覧ください。

<http://i-ehon.jp/>



定価3,000円(税込・送料別)
版型210mm×200mm、本文32ページ、
並製ムセン綴じ

【お問い合わせ&お申し込み】

i-ehon販売事務局 TEL 03-3817-7341

画像管理ASPサービス「TRUENEXT BINDER™」

本年9月より、商品情報や企業史料などの画像や図表データを、効率的に一元管理するASPサービス「TRUENEXT BINDER™（トゥルーネクスト・バインダー）」の販売を開始しました。このサービスは、カタログなどの制作において当社が培ってきたデータパブリッシング技術を応用しています。データベース（以下DB）項目の分析からデータ入力、DBの管理・運用までをASPサービスで行います。当サービスを導入された企業は、従来と比較して安価にDBが構築できると同時に、企業内でデータの閲覧共有が可能となります。



印刷工程におけるデジタル化の推進

当社は、プリプレス工程のデジタル化を積極的に推進しています。そのひとつが、データから直接刷版を作成し、高品質な網点の再現を可能にするCTP（Computer To Plate）で、CTP化は前年度比158%に達しました。

デジタル化の推進は、印刷工程の高度化、効率化はもちろん、ASPサービスの提供などさまざまな波及効果も期待できます。今後もお客さまのご要望にお応えするため、デジタルサポートシステムの充実に取り組んでまいります。

社会貢献・夏休み子ども工場見学会を実施

印刷ならびに当社事業へ理解促進を図るため、第1回工場見学会「本ができるまで」を行いました。

本年7月に社員およびご家族を対象に五霞工場で、8月には本社工京区在住の小学校5・6年生を対象に小石川工場で開催しました。今後も継続して行う予定です。



見学会の様子

第40回 造本装丁コンクール展

日本書籍出版協会・日本印刷産業連合会主催の「第40回造本装丁コンクール」で、以下の4点が入賞しました。

- 日本印刷産業連合会会長賞
(株) 講談社「アフタヌーン四季賞 CHRONICLE」
(株) 光文社「創立60周年記念『少年』オール復刻BOX」
(株) 平凡社「東京日記 卵一個ぶんのお祝い。」
(株) 二玄社「The Engine Ferrari 365GT／4BB」



講談社「アフタヌーン四季賞 CHRONICLE」

連結貸借対照表

平成18年9月30日現在（単位：百万円）

	当中間期	前中間期		当中間期	前中間期
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	48,199	45,477	流 動 負 債	31,530	34,453
現金及び預金	10,493	10,696	支払手形及び買掛金	23,064	21,295
受取手形及び売掛金	28,637	26,870	短期借入金	597	487
たな卸資産	8,155	7,180	一年内返済長期借入金	877	572
繰延税金資産	617	687	一年内償還社債	—	5,000
その他	426	430	賞与引当金	1,177	1,208
貸倒引当金	△ 129	△ 388	役員賞与引当金	25	—
			その他	5,789	5,889
固 定 資 産	58,794	58,115	固 定 負 債	19,340	13,586
有形固定資産	41,201	40,397	社 債	10,000	5,000
建物及び構築物	13,181	13,825	長期借入金	1,887	949
機械装置及び運搬具	13,012	11,940	退職給付引当金	6,551	6,574
工具器具備品	797	635	その他	902	1,062
土地	13,398	12,857	負 債 合 計	50,871	48,039
建設仮勘定	810	1,138	純 資 産 の 部		
無形固定資産	579	619	株 主 資 本	50,886	—
ソフトウェア	429	469	評価・換算差額等	5,030	—
その他	149	149	少数株主持分	205	—
投資その他の資産	17,014	17,098	純 資 産 合 計	56,122	—
投資有価証券	15,639	15,759	負債及び純資産合計	106,994	—
長期貸付金	32	40	少数株主持分		
繰延税金資産	151	130	少数株主持分	—	199
その他	1,433	1,357	資 本 の 部		
貸倒引当金	△ 243	△ 189	資 本 金	—	4,510
			資本剰余金	—	1,742
			利益剰余金	—	44,071
			株式等評価差額金	—	5,203
			為替換算調整勘定	—	△ 131
			自己株式	—	△ 41
			資 本 合 計	—	55,354
資 産 合 計	106,994	103,593	負債、少数株主持分及び資本合計	—	103,593

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで（単位：百万円）

	当中間期	前中間期
売上高	53,289	51,384
売上原価	45,999	43,696
売上総利益	7,290	7,688
販売費及び一般管理費	6,748	6,833
営業利益	542	854
営業外収益	593	661
営業外費用	241	175
経常利益	894	1,340
特別利益	29	59
投資有価証券売却益	8	—
貸倒引当金戻入益	—	58
固定資産売却益	—	1
補助金収入	20	—
特別損失	228	1,814
固定資産処分損	119	112
投資有価証券評価損	13	14
減損損失	69	1,688
その他	24	—
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	695	△ 413
法人税、住民税及び事業税	330	737
法人税等調整額	11	△ 553
少数株主損失	9	3
中間純利益又は中間純損失(△)	363	△ 593

(注) 1. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 470 511

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日 残高	4,510	1,743	44,684	△ 44	50,892
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 360		△ 360
持分法適用会社の減少			△ 9	1	△ 8
中間純利益			363		363
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 7	0	△ 6
平成18年9月30日 残高	4,510	1,743	44,676	△ 43	50,886

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日 残高	6,592	△ 74	6,517	211	57,621
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△ 360
持分法適用会社の減少					△ 8
中間純利益					363
自己株式の取得					△ 0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	△ 1,503	16	△ 1,487	△ 5	△ 1,492
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 1,503	16	△ 1,487	△ 5	△ 1,499
平成18年9月30日 残高	5,089	△ 58	5,030	205	56,122

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで(単位:百万円)

区 分	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,148	2,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,392	△ 2,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 744	△ 1,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,988	△ 1,251
現金及び現金同等物の期首残高	12,209	11,703
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,220	10,452

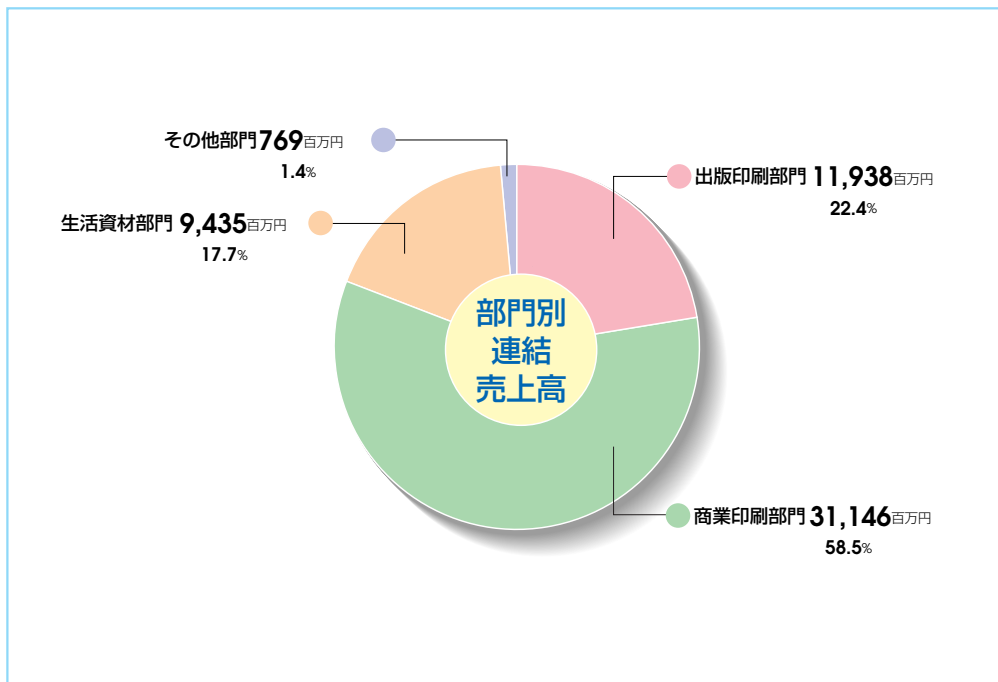
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

部門別連結売上高

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで (単位：百万円)

	当中間期		前中間期	
		(%)		(%)
出版印刷部門	11,938	22.4	12,397	24.1
商業印刷部門	31,146	58.5	28,844	56.1
生活資材部門	9,435	17.7	9,395	18.3
その他部門	769	1.4	746	1.5
合計	53,289	100.0	51,384	100.0

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



貸借対照表

平成18年9月30日現在（単位：百万円）

	当中間期	前中間期		当中間期	前中間期
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	43,823	41,089	流 動 負 債	29,779	32,703
現金及び預金	8,327	8,561	支払手形	2,589	2,827
受取手形	5,025	5,080	買掛金	19,841	17,796
売掛金	22,134	20,176	一年内返済長期借入金	780	456
製品	2,898	2,886	一年内償還社債	—	5,000
仕掛品	3,881	3,253	未払法人税等	334	717
原材料及び貯蔵品	756	471	未払費用	2,032	1,974
繰延税金資産	516	569	賞与引当金	1,014	1,029
その他	401	393	役員賞与引当金	25	—
貸倒引当金	△ 119	△ 303	設備関係支払手形	691	323
			その他	2,471	2,578
固 定 資 産	54,619	54,016	固 定 負 債	18,481	12,593
有形固定資産	36,939	36,222	社債	10,000	5,000
建物	11,545	12,066	長期借入金	1,530	500
構築物	385	430	繰延税金負債	359	456
機械及び装置	11,551	10,606	退職給付引当金	6,199	6,211
車両及び運搬具	21	17	役員退職引当金	324	348
工具器具及び備品	717	586	その他	68	76
土地	11,925	11,384	負 債 合 計	48,261	45,296
建設仮勘定	793	1,129	純 資 産 の 部		
無形固定資産	449	519	株主資本	45,138	—
ソフトウェア	315	386	評価・換算差額等	5,043	—
その他	133	133	純 資 産 合 計	50,182	—
投資その他の資産	17,230	17,273	負債及び純資産合計	98,443	—
投資有価証券	16,084	16,145	資 本 の 部		
長期貸付金	88	88	資本金	—	4,510
その他	1,285	1,217	資本剰余金	—	1,742
貸倒引当金	△ 228	△ 177	利益剰余金	—	38,435
			株式等評価差額金	—	5,138
			自己株式	—	△ 17
			資 本 合 計	—	49,809
資 産 合 計	98,443	95,105	負債・資本合計	—	95,105

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで（単位：百万円）

	当中間期	前中間期
売上高	50,999	49,076
売上原価	44,080	41,889
売上総利益	6,918	7,187
販売費及び一般管理費	6,573	6,717
営業利益	345	469
営業外収益	812	859
営業外費用	246	192
経常利益	911	1,136
特別利益	2	61
関係会社株式売却益	2	—
貸倒引当金戻入益	—	61
その他	—	0
特別損失	143	1,813
固定資産処分損	59	111
投資有価証券評価損	13	14
減損損失	69	1,688
税引前中間純利益又は 税引前中間純損失(△)	770	△ 615
法人税、住民税及び事業税	286	612
法人税等調整額	△ 20	△ 573
中間純利益又は中間純損失(△)	505	△ 654
前期繰越利益	—	974
中間未処分利益	—	320

(注) 1. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 470 511
 2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員

取締役会長	山口 政廣	取締役	松山 雅俊
代表取締役社長	稲木 歳明	取締役	清水 市司
専務取締役	渡邊 晋也	取締役	井戸 一喜
専務取締役	赤坂 洋輔	取締役	岡田 正明
専務取締役	谷 公明	取締役	大澤 春雄
常務取締役	花田 和彦	常勤監査役	斉藤 紀幸
常務取締役	藤森 康彰	常勤監査役	中山 芳郎
取締役	三吉 幹夫	常勤監査役	望月 三朗
取締役	小笠原 誠	監査役	宮澤 邦夫
取締役	半田 正章		

(平成18年9月30日現在)

会社の概要 (平成18年9月30日現在)

創業 1897(明治30)年6月

資本金 45億1千万円

従業員数 2,339名

営業品目 (部門/主要製品)

出版印刷部門

週刊誌、月刊誌、季刊誌、単行本、全集、教科書など

商業印刷部門

ポスター、カレンダー、各種ビジネスフォーム、証券類、各種カード類、電子機器部品、広告宣伝媒体および装飾展示等の企画・制作など

生活資材部門

紙器、軟包装用品、各種チューブ、金属印刷、建材用品印刷など

子会社および関連会社

子会社

共同物流(株)

共同デジタル(株)

小石川プロセス(株)

常磐共同印刷(株)

共同辞書印刷(株)

近畿共同印刷(株)

笹目印刷加工(株)

共同印刷製本(株)

共同包装(株)

常磐包装(株)

(株)日本書籍新社

共同総業(株)

(株)共同エージェンシー

共同印刷ビジネスソリューションズ(株)

海外子会社

Kyodo Printing Co.(S'pore)Pte.Ltd.

関連会社

共同製本(株)

千葉共同印刷(株)

※共同フォーム印刷(株)は、2006年8月31日をもって出資比率20%未満になったため、関連会社から除外いたしました。

営業所・工場

本社・小石川工場	
〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12	Tel. 03-3817-2071 (総務部)
関西事業部	
〒541-0046 大阪市中央区平野町2-1-2 沢の鶴ビル	Tel. 06-6203-1588 (代表)
中部事業部	
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-18 ニューサカエビル	Tel. 052-951-7661 (代表)
京都営業所	
〒604-0835 京都市中京区御池通高倉西入高宮町200 千代田生命京都御池ビル	Tel. 075-223-0163 (代表)
五霞工場	
〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋7514	Tel. 0280-84-3511 (代表)
鶴ヶ島工場	
〒350-2201 埼玉県鶴ヶ島市富士見6-2-12	Tel. 049-286-6060 (代表)
川島工場	
〒350-0151 埼玉県比企郡川島町八幡6-13-2	Tel. 049-291-0200 (代表)
小田原工場	
〒250-0216 神奈川県小田原市高田南原288	Tel. 0465-42-1551 (代表)
越谷工場	
〒343-0851 埼玉県越谷市七左町4-301	Tel. 048-989-1221 (代表)
守谷工場	
〒302-0118 茨城県守谷市立沢1932	Tel. 0297-45-2681 (代表)
和歌山工場	
〒643-0023 和歌山県有田郡有田川町熊井560-2	Tel. 0737-52-7211 (代表)
野田開発センター	
〒278-0051 千葉県野田市七光台66	Tel. 04-7129-1980 (代表)

～株式会社のごあんない～

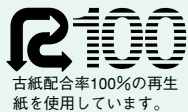
決算期	3月31日
定時株主総会開催期	6月
株主確定基準日	定時株主総会 3月31日 利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要あるときは予め公告する日
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
IR情報等を掲載するホームページアドレス	http://www.kyodoprinting.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター内)
〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	電話 東京03-3323-7111 (代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

各種手続用紙のご請求は下記のフリーダイヤル又はホームページをご利用下さい

●フリーダイヤル 0120-87-2031

●インターネット／ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

Kyodo Spirit グループ経営ビジョン **2005**
新しい視点・新しい行動
2006~2007



ホームページ (URL) <http://www.kyodoprinting.co.jp/>